

| | | | | |
|---|--|---|--|---|
| 科目名: 租税法入門 | | 科目コード | HA29 | |
| 科目主査: 佐々木 理恵 | | 担当講師: 佐々木 理恵 | 単位 | 2 |
| | | | 配当年次 | 1 |
| 授業の目的と概要 | グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし | 個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし | カク・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要 | |
| <p>租税に関する基本的な考え方や原則を理解しておくことは、個別の税法を学習するにあたってとても有用です。本科目では、まず、租税の特徴、種類、根拠などの租税に関する基本的な考え方を学習し、租税平等主義や租税法主義など、租税の原則について学習します。次いで、個人への課税と企業への課税に分けて、その基本的な考え方と仕組み、専門用語について学習します。さらに、申告や納税などの手続面についても学習し、租税の全体像を概観します。</p> | | | | |
| 履修の前提となる科目 | <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし | 科目名: 所得税等の個別税法を学習するために必要な学習として位置づけています。個別税法を学ぶ予定がある方、税法に興味のある方を対象としています。 | | |
| 履修の前提となる知識 その他特記事項 | テキストを熟読し、不明な点は質問ができるように準備してください。事前学習度合いが授業内容の理解に大きく影響します。授業回によって、個人ワークの実施・解説で理解を深めていきます。 | | | |
| テキスト | 『租税法』岡村 忠生 他,有斐閣,最新版 | | | |
| この科目の到達目標 | <p>①租税法の基本原則を理解でき、所得税法、法人税法、消費税の基本的な事項を説明できる。</p> <p>②課税手続を理解し、今後の課税制度について自らの意見を述べることができる。</p> | | | |
| 成績評価の方法 | 授業をきちんと聞くこと、重要な点はノートにまとめてください。試験へのテキストおよびノートの持込は可とします。出席及び提出された課題の理解度、最終試験結果を評価対象とします。 | | | |
| 事後学習 | スクーリングで学習した内容を復習するため、再度テキストを読み、理解を深めること。 新聞やインターネットなどで税法改正などに興味をもつこと。 | | | |
| 事後学習の参考文献 | 『租税法』金子 宏,弘文堂,2019年 『租税法入門』増井 良啓,有斐閣,2018年 『租税法入門』川田 剛,大蔵財務協会,2020年 | | | |
| スクーリング受講時に用意するもの | <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓 | | | |